

Ⅲ 学童期の子どもをもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅲ-6

子どもの家庭学習について楽しく話し合おう！ ～探そう魔法の言葉・技～

対象：小学生の子どもをもつ保護者
時間：60分程度

ねらい	家庭学習に関する子どもへの接し方を振り返り、親として理想のかかわり方を話し合う中で、子どものやる気が出る接し方について考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「子どものやる気」という視点で今までに行ってきた自分のかかわり方を振り返ることができる。 ○ 子どもの家庭学習に対するやる気が出るかかわり方のポイントについて考えることができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ4～6人程度のグループをつくっておく。 ○ 役割分担をする。(進行・記録・発表) ○ 付せん紙(黄・青・赤) ○マジック ○紙(模造紙) ○資料 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の緊張をほぐし、和やかな雰囲気をつくる。 ・自己紹介により、互いに親近感がもてるようにする。 ・自己紹介で「学習のことで子どもをほめたこと」を出し合い最近ほめた人から司会者、発表者と決める。 	名札(黄付せん紙) マジック
展開	5分	ワーク1 ・グループで話し合う。	資料① 青付せん紙 付せんを貼る紙 赤付せん紙 模造紙
	15分	ワーク2 (ふだんの声かけ) ・青付せん紙に自分の声かけやかかわり方を書く。 ・グループの中で青付せん紙を貼りながら発表をする。 ・赤付せん紙に理想の声かけやかかわり方を書く。 ・グループの中で赤付せん紙を貼りながら発表をする。	
	10分	ワーク3 ・他のグループの話し合いの紙を見て回る。	
	10分	ワーク4 ・ロールプレイングを行い「今のかかわり方(やる気をなくすものを選んで)」と「理想のかかわり方」の違いを体験する	
まとめ 10分	ふりかえり ・今日の話し合いで参考になったことや感想をグループで話し合う。 ・グループで話し合ったことを全体に発表する。 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・特によいかかわり方は全体で紹介する。 ・ファシリテーターは「理想のかかわりは子どもの立場で考えることが大切である」ことに気づくことができるようにまとめる。 ・ファシリテーターは参加者が「子育てについて親同士で話し合うことは楽しいことである」ことに気づくことができるようにまとめる。 	